

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor	実務 経験
中級簿記 I	～218	2年生・前期	2単位	選択	長友 陸富	
履修の前提条件	日本商工会議所の簿記検定3級の内容理解をとおして、株式会社の経済活動に関する会計処理や決算手続きを学びます。従って、3級程度の複式簿記の原理や技術を修得していることが前提となります。					
授業概要 (Course Outline)						
<p>ビジネス社会において必要不可欠といわれる会計の知識、その基礎となっているのが、(複式)簿記の原理と技術です。(複式)簿記とは、企業の日々の経営活動を記録・計算・整理して経営成績と財政状態を明らかにする技能のことです。本講義では、株式会社の経済活動を複式簿記の原理と技術をとおして、記帳方法や会計処理等簿記一巡の手続きについて学習します。日本商工会議所主催の簿記検定2級の内容になります。簿記知識の習得は積み重ねです。そのためには毎回の講義に必ず出席し、毎回の課題、宿題を行い、自学を確立することが重要です。</p>						
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)						
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture					
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					
	数量的スキル Mathematics					○
	情報リテラシー Information Literacy					
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	問題解決力 Problem Solving					○
	建学の精神 University Founding Philosophy					○
	自己管理能力 Self-management					○
	チームワーク Teamwork					
	リーダーシップ Leadership					
	倫理観 Ethical Sense					○
	市民としての社会的責任 Social Responsibility					
	生涯学習力 Lifelong Learning					○
到達目標 (Objectives)						
本講義では日本商工会議所検定2級の商業簿記の内容を中心に簿記の技術や理論を学び、株式会社の経済活動を記録、計算、整理、集計したものを活用して、財務諸表を作成することができることを目標とします。						
事前学習の内容	次の講義までに、前回の講義の内容をもう一度読み直すこと。そこで疑問や不明な点がでた場合は遠慮せずに、講義担当者に質問すること。					
事後学習の内容	毎回の講義で学習した範囲の課題を出します。解いて理解を深めてください。課題や宿題は次の講義開始前に担当教員に提出した後、課題等について説明発表を学生が行います。					
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)						
課題・宿題の問題は積極的に発表、説明し、相互理解を高めてください。授業時には講義内容の理解度をチェックするため、口頭試問を実施します。						
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)						
連絡、問い合わせ、相談などは2号館5階556室の研究室にてオフィスアワー時(年度はじめに掲示)、あるいは電子メール(アドレス:nagatomoy@kiis.ac.jp)で受け付けます。						
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について						
学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、前期定期試験日に長友陸富までメールで提出してください。						

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	オリエンテーション(講義の進め方, 講義内容, 受講上の諸注意, 評価方法など)を確認する。 簿記の基礎を振り返る。		
第2回	簿記一巡の手続き	1 簿記一巡の手続き 2 日々の手続き	3 決算の手続き 4 財務諸表
第3回	商品の評価理解	1 三分割法 2 売上原価の計算	3 商品の評価
第4回	固定資産・繰延資産理解	1 有形固定資産 2 減価償却費の計算方法	3 建設仮勘定
第5回	無形固定資産理解	1 無形固定資産 2 償却方法	3 繰延資産
第6回	引当金理解	1 引当金 2 貸倒損失と貸倒引当金	3 売上割戻引当金 4 退職給付引当金
第7回	引当金理解	5 商品保証引当金 6 修繕引当金	7 7回までのまとめ
第8回	株式会社理解	1 株式会社の意義 2 株式会社の機関	3 株式会社の資本金
第9回	株式の発行理解	1 株式の発行 2 新株発行の流れ	3 まとめ
第10回	剰余金の配当等理解	1 獲得利益の会計処理 2 剰余金の配当等	3 剰余金の配当等の会計処理
第11回	企業結合理解	1 企業結合 2 事業譲渡	3 合併
第12回	法人税等理解	1 法人税等 2 法人税等の会計処理	
第13回	社債理解	1 社債とは 2 社債の割引発行	3 社債利息の支払い 4 社債の決算整理
第14回	社債の償還理解	1 社債の満期償還 2 社債の買入償還(臨時償還)	
第15回	決算理解	1 大陸式決算法 2 財務諸表 3 損益計算書	4 貸借対照表 5 株主資本等変動計画書
第16回	定期試験		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
大原合格作戦シリーズ 日商簿記2級商業簿記テキスト&問題集	大原簿記専門学校監修	大原出版	
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
合格トレーニング日商簿記2級商業簿記		TAC出版	
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
<p>成績評価の方法: 定期試験(90%), 平常点(5%), 課題・宿題(5%)。平常点は毎回の授業最初の課題・宿題提出及び発表状況で判断する。</p> <p>成績評価の基準: ①2級の取引の仕訳ができるか。②財務諸表等の作成ができるか。</p>			